



市政記者クラブ 様

令和 6 年 9 月 13 日

経済局イノベーション推進部スタートアップ支援課

担当：鷲見、正木 電話：972-3046



なごやまちなか実証「NAGOYA CITY LAB」にて 6 件の実証プロジェクトが始動します

まちなかの至るところで社会実証が活発に行われる「世界の実証実験都市なごや」を目指し実施する「NAGOYA CITY LAB」において、スタートアップ等の募集を行ったところ、57 者からのご応募をいただきました。その中から、民間フィールドとスタートアップとのマッチングを行い、今年度取り組む実証プロジェクト 6 件が決まりましたので下記のとおりお知らせします。

尚、9 月 20 日には民間フィールド・実証事業者等が参加する交流会の開催も企画しておりますので、ぜひ取材いただけますようよろしくお願いします。

記

1 取り組む実証プロジェクト ※概要は別紙参照

実証事業者	実証プロジェクト名	民間フィールド	実証内容
イクスアール株式会社	MR アプリを活用した防災訓練プロジェクト (in ナディアパーク)	ナディアパーク	MR アプリを活用して防災訓練を実施し、その効果と市場ニーズを検証
株式会社 Spacewasp	サステナブル内装市場形成プロジェクト (in SLOW ART CENTER NAGOYA)	SLOW ART CENTER NAGOYA	植物廃棄物由来の樹脂でサステナブルな家具などを製作・展示し、設置施設への集客効果と市場ニーズを検証
株式会社 Tokai Innovation Institute	“仕掛け”回遊創出プロジェクト (in Central Park・Hisaya-odori Park)	Central Park・Hisaya-odori Park	大学の先端研究である仕掛け学を用いた「ついしたくなる」仕掛け装置を活用し、エリア内での人流創出効果を検証
株式会社 palan	AR コンテンツ賑わい創出プロジェクト (in なごや寺町エリア)	なごや寺町エリア (東別院～西別院エリア)	地域の魅力を高める AR コンテンツ等を導入し、賑わいの創出効果及び ToC 向けの市場ニーズを検証
株式会社ユーリア	検査キットを活用した健康増進プロジェクト (in 那古野エリア)	那古野エリア	栄養状態がわかる尿検査キットの検査結果に応じ商店街にて利用できるクーポン等を提供し、商店街への来訪促進効果を検証
株式会社 REMARE	廃棄プラスチック回収・再生プロジェクト (in 錦二丁目エリア)	名古屋錦二丁目エリア	環境意識の高い地域で廃棄プラスチックを回収しリサイクル素材を製造・商品販売し、回収効率及びアップサイクル製品の認知向上効果を検証

2 今後のスケジュール



9 月～2025 年 2 月下旬	実証プロジェクトの実施 交流会の開催 市民向けデモンストレーションの実施
2025 年 3 月	実証成果の報告

3 実証プロジェクトに対する本市による支援内容

- ・ 実証費用のサポート（実証経費に対する支援金の支払い）
- ・ 社会実証に際した計画策定や実証推進にかかる専門的アドバイスの提供
- ・ 事業拡大や成長を見据えた客員起業家等によるアドバイスの提供
- ・ 本市主催のイベント等での広報活動の推進 など

客員起業家(社会実証事業のプロジェクトマネージャー)



加藤 厚史

略歷

株式会社エイチームにて、人事や新規事業の立ち上げを行い、取締役として2012年に東証一部上場を経験。2016年に独立し、株式会社スタメンを創業。人と組織に関する、エンゲージメント領域のSaaS「TUNAG」をリリースし、2020年に創業4年目で東証グロース市場に上場。2022年度末に創業メンバーの副社長にバトンタッチする形で社長を退任し、新たに株式会社 Subtitle を創立。2023年度より、名古屋市客員起業家に着任。社会実証事業のプロジェクトマネージャーとして、本事業のマネジメント・事業化支援等を行っている。

4 交流会の実施

日 時：2024 年 9 月 20 日（金）14:30-17:00

場 所 : NAGOYA INNOVATOR' S GARAGE

参加者：民間フィールド担当者、実証事業者

プログラム：本年度採択事業者の実証計画紹介、令和5年度実証事例紹介、
スタートアップ等と民間フィールドのネットワーキング

5 ご取材いただけるシーン

- ・実証事業者と民間フィールドとの会議
- ・実証開始に向けた準備（例：実証機器搬入等）、実証実施中（例：市民向けデモンストラレーション等）
- ・交流会、成果報告会 など

※取材を希望される場合は、スタートアップ支援課へ事前にお問合せください。
なお、ご取材いただけるシーンは、民間フィールドや実証事業者によって異なります。

6 その他

- ・実証プロジェクトの詳細については、別紙及び公式ウェブサイト（<https://nagoya-city-lab.jp/>）をご参照ください。
- ・名古屋経済記者クラブに同時提供



● 実証プロジェクト名

MRアプリを活用した防災訓練プロジェクト（inナディアパーク）

● 実証事業者

イクスアール株式会社（<https://www.exr.co.jp/>）

本社所在地：名古屋市中村区



イクスアール株式会社

● 実証実施フィールド

- ・【名称】ナディアパーク
- ・【管理者】株式会社国際デザインセンター
- ・【概要】デザインセンタービルとビジネスセンタービルからなり、前者には多目的ホール等、後者には大規模商業施設及びオフィス、そして両ビルの間にはガラス壁で囲まれたアトリウムがある。

● 実証に使用するソリューション

プロダクト/サービス内容

- ・ イクスアール（株）のMR * アプリケーション開発技術と、GPSでは取得困難な屋内位置情報を既存Wifi 環境を使って取得する技術を組み合わせた「防災訓練MRアプリケーション」を試作開発し、ナディアパークでの実際の避難訓練に向けて実証を行う。

*MR = Mixed Reality（複合現実）



ナディアパーク

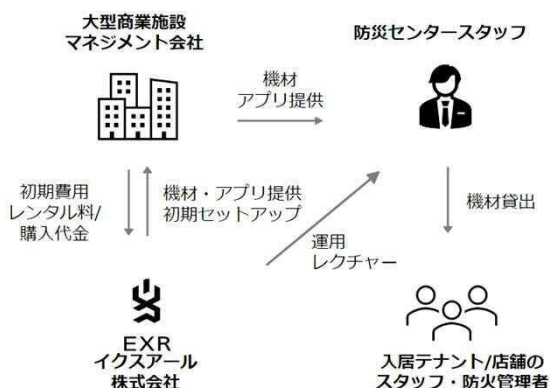
● 実証内容

- ・ 同施設を3Dスキャンし、施設の防災訓練ニーズを基に、建物内での火災・延焼発生、防火扉開閉など通常の避難訓練では再現が難しい事象を、MRアプリケーションとMRゴーグルにより再現する。
- ・ 開発したMRアプリケーションを防火管理者・テナントの避難訓練・消火訓練で活用し、利用者に対するアンケート調査により訓練を効率的・効果的に実施できたかを検証する。
- ・ 並行して、MRゴーグルの操作性やシステムの精度・安定性も同アンケート調査と位置情報・操作ログ等から検証する。

● 実証後の事業展開

- ・ 本実証で得られた検証結果を基に、試作開発したアプリケーションの修正・追加機能実装を実施する。
- ・ 機材レンタル・販売、アプリケーション運用レクチャー費用等をパッケージ商品として、避難訓練を定期的に実施している大型商業施設の管理会社や施設オーナー等への販売チャネル開拓を目指す。

ビジネスモデル仮説



● 実証プロジェクト名

サステナブル内装市場形成プロジェクト（in SLOW ART CENTER NAGOYA）

● 実証事業者

株式会社Spacewasp（<https://spacewasp.net/>）

本社所在地：岐阜県岐阜市

Spacewasp

● 実証実施フィールド

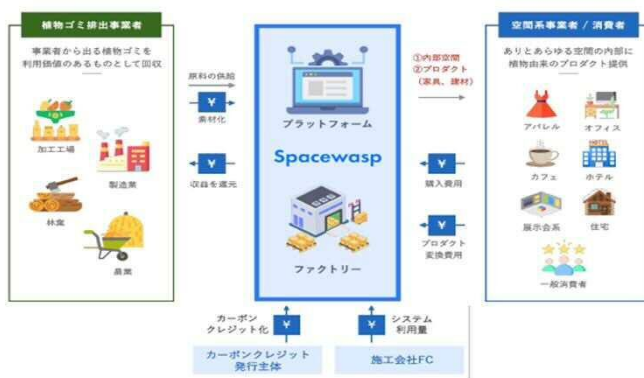
- ・【名称】 SLOW ART CENTER NAGOYA
- ・【代表事業者】三菱地所株式会社
- ・【概要】栄地区の賑わい向上を目的として、2024年3月に名古屋市旧教育館跡地に開業し、アーティスト、大学研究者や企業・学校等の活動ハブ機能を担っている。

● 実証に使用するソリューション

提供プロダクト/サービス内容

- ・植物廃棄物（街路樹の剪定廃棄物、古民家の古材、花の茎や葉など）を樹脂に変換し、大型の3Dプリンターや板材製造機で内装資材や家具などに成形し、内装空間の提供を行う。
- ・一度制作したプロダクトは、何度も再成形することができるため、廃棄の出ないサステナブルな内装を提供可能。

ビジネスモデル



● 実証内容

- ・焼却処理される運命にあった植物廃棄物から成形したコンセプトualな家具やインテリア、建築資材（床材など）を、同施設のレストラン（右図）他、同施設内の至るところに設置する。
- ・話題性のあるプロダクトと空間作りを行い、展示プロダクトをきっかけにサステナブルな家具などを購入したいニーズがあるか、また、これらの取り組みが同施設の集客効果にもたらす影響を検証する。



● 実証後の事業展開

- ・本実証で検証する同社プロダクト設置が施設にもたらす効果を基にSLOW ART CENTER NAGOYAの事業者である三菱地所株式会社をはじめとした、デベロッパー等不動産会社の施設、また公共施設等への展開を模索する。

● 実証プロジェクト名

“仕掛け”回遊創出プロジェクト（in Central Park・Hisaya-odori Park）

● 実証事業者

株式会社Tokai Innovation Institute

(<https://tokai-innovation.com/>)

本社所在地：名古屋市千種区



● 実証実施フィールド

- ・【名称】Central Park・Hisaya-odori Park
- ・【代表事業者】株式会社セントラルパーク
- ・【概要】地上は名古屋市のランドマークである「Hisaya-odori Park」、地下は名古屋市最大の地下街で物販や飲食店約100店が軒を連ねる「Central Park」から構成される。

● 実証に使用するソリューション プロダクト/サービス内容

- ・大学の最先端の研究成果を社会実装する新たなスキームを実施する。
- ・仕掛け学を用いた「ついしたくなる」仕掛け装置を活用し、利用者の行動変容を促すソリューションの開発・提供する。
- ・開発した仕掛け装置を活用し、従来の導線最適化やレイアウト改善などのハード整備ではなく、ソフト面での人流創出サービスを提案する。



写真：真実の口の仕掛けの事例
出典：『仕掛け学—人を動かすアイデアのつくり方』
（松村真宏著 東洋経済新報社 2016年）

● 実証内容

- ・ Hisaya-odori ParkとCentral Park間の回遊性を高めるため、階段等のアセットを活かした仕掛け装置を検討・フィールド内に設置する。
- ・ 仕掛け装置設置前と設置後の人流の変化を計測し、仕掛け装置の組み合わせによる人流創出可否を検証する。
- ・ 並行して、来訪者・仕掛け装置利用者に対するアンケート調査により、仕掛け装置による人流創出効果を確認する。



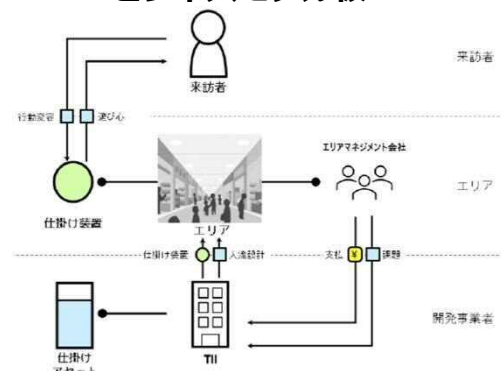
仕掛け装置設置イメージ



出典：Piano stairs - TheFunTheory.com - Rolighetsteorin.se

狙いとする町の活性化、誘客、動線誘導を、仕掛け学と人流解析で実現する

ビジネスモデル仮



● 実証後の事業展開

- ・ 本実証を通じて得られた人流創出結果を基に人流ソリューション提供事業や仕掛け装置のレンタル事業を軸にして、まずは中部圏の大型商業施設等に対するサービスの展開を図る。

● 実証プロジェクト名

ARコンテンツ賑わい創出プロジェクト（inなごや寺町エリア）

● 実証事業者

株式会社palan（<https://palan.co.jp/>）

本社所在地：東京都渋谷区



● 実証実施フィールド

- ・【名称】なごや寺町エリア
- ・【代表事業者】なごや寺町まちづくり協議会
- ・【概要】東別院～西別院エリアが対象。神社仏閣や仏具店が連なる門前町商店街や名古屋城の城下町入口であった橋町大木戸跡があり、屋外マーケット等も定期開催している。

● 実証に使用するソリューション

提供プロダクト/サービス内容

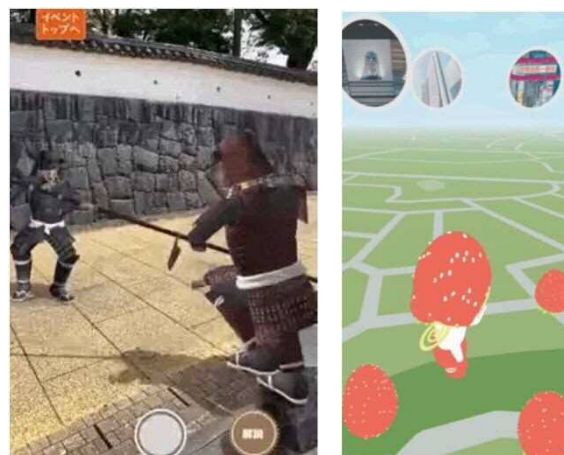
- ・地域の魅力を高めるARコンテンツをデジタルマップ上に配置し、AR上で歴史上の建築物やデジタルアートなど、「その場所に行くことでしか体験できない」コンテンツを提供するAR観光サービス「AR Maps」を提供する。
- ・「アプリ不要なWebARの為、観光客が手軽に体験することが可能」、「AR作成サービス palanARを利用し、製作コストを削減」等差別化を図っている。

*AR = Augmented Reality（拡張現実）



● 実証内容

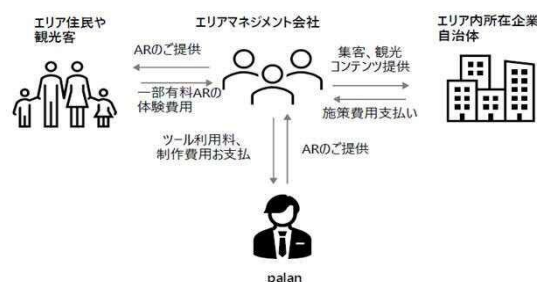
- ・当エリアの歴史的な要素やキャラクターを用いた観光周遊機能（ゲーム性のある冒険機能）を有するARコンテンツを作成する。
- ・上記コンテンツの導入より、賑わいや継続利用を創出できるかを検証する。
- ・また、11月に行われるイベントにおいて、有料のAR体験スポットも用意し、体験率等からどのようなコンテンツであればユーザーの購入意欲を喚起できるかを検証する。



● 実証後の事業展開

- ・本実証で検証されるソリューション導入による集客効果を基に、当地域をはじめとする国内での観光・お出かけサービスとしての定着を目指す。
- ・企業や自治体だけでなく、ユーザーからのマネタイズにも取り組むことで、持続可能なビジネスモデルの構築を目指す。
- ・また本実証結果を海外における展示会にて展示等を行うことで欧米を中心とした販路拡大も目指す。

ビジネスモデル仮説



● 実証プロジェクト名

検査キットを活用した健康増進プロジェクト（in那古野エリア）

● 実証事業者

株式会社ユーリア（<https://yuurea.co.jp/>）

本社所在地：名古屋市西区



● 実証実施フィールド

- ・【名称】那古野エリア
- ・【代表事業者】株式会社ツーリズムデザイナーズ
- ・【概要】円頓寺商店街を中心とした古き良き下町情緒と新しい文化が融合したエリアで、名古屋駅や名古屋城から約1kmと、両拠点のほぼ中間地点に位置している。

● 実証に使用するソリューション

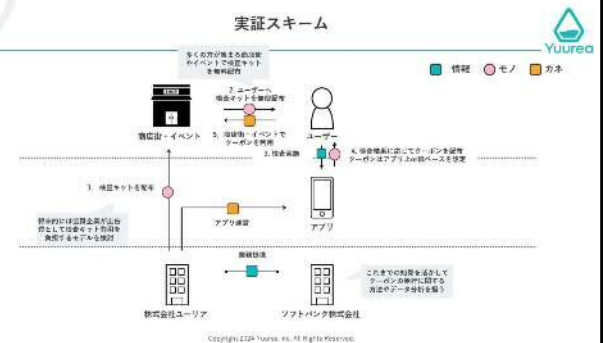
プロダクト/サービス内容

- ・ 同社の検査キットは、尿に反応してリトマス試験紙のように変色し、専用のアプリケーションを用いて写真撮影・読み取ることによって簡易に即時に栄養状態の検査が可能である。
- ・ 他社サービスと比較して、①安く②早く③多項目検査を④高精度で測る事で差別化を図っている。



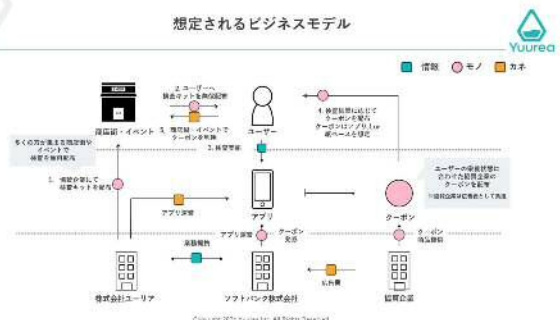
● 実証内容

- ・ 商店街での検査キット配布方法や検査キット利用者に対する商店街で利用できるクーポンの設計方法などに複数のパターンを設定し、各検査キット利用促進施策に対する検査キットの利用率を複数回に亘り検証する（※クーポン設計については事業連携先のソフトバンク株式会社と協業）
- ・ 合わせて、複数回の検査キット利用に繋がったコアユーザーの割合や、クーポンの利用率を検証することで検査キットを起点として商店街に訪れるユーザー数の増減を検証する。



● 実証後の事業展開

- ・ 本実証を通じて検証される検査キットを起点とした商店街への来訪率などを基に那古野エリア以外の市内様々な商店街や商業施設での導入拡大を図る。
- ・ 従来は検査キット単体での販売が主な事業であったが、本実証で検証されるユーザーの検査キット・クーポン利用率を基に、新たなビジネスモデル構築に向けて協賛企業獲得を図る。



● 実証プロジェクト名

廃棄プラスチック回収・再生プロジェクト（in 名古屋錦二丁目エリア）

● 実証事業者

株式会社REMARE（<https://www.remaremateral.com/>）
本社所在地：三重県鳥羽市

REMARE

● 実証実施フィールド

- ・【名称】名古屋錦二丁目エリア
- ・【代表事業者】錦二丁目エリアマネジメント株式会社
- ・【概要】名古屋駅と栄駅の間に位置し、約20年に亘るまちづくり活動を経てエリアマネジメント体制を立ち上げ、企業・地縁組織・行政・大学等との連携を推進している

● 実証に使用するソリューション

提供プロダクト/サービス内容

- ・ 多種多様なプラスチックが混在する廃棄プラスチック群を再資源化する技術・システムの開発を行い、リサイクル素材を生成販売（例：海洋プラスチックごみからリサイクルプラスチック素材の板版生成（右図参照））
- ・ 排出された二酸化炭素などの温室効果ガスを削減し、他の場所で直接的、間接的に削減分を吸収する「カーボンオフセット機能」を備えた製品企画のコンサルティング、製造販売も手掛ける



● 実証内容

- ・ カーボンニュートラルに関する取組を行っている錦二丁目エリア内にペットボトルキャップやその他廃棄プラスチックの回収ボックスを設置し、板材生成に必要な廃棄プラスチックを複数のアプローチで回収することで、都市部における廃棄プラスチックの回収効率最大化に係る要因を検証する。
- ・ 当エリア内で回収された廃棄プラスチックを活用したアップサイクル製品の認知向上につながる効果的な販売とこれに伴う回収率の向上を図る。
- ・ 性別や年齢のデータと回収率の相関を調べる。



● 実証後の事業展開

- ・ 本実証を通じて消費者の環境に対する意識を明確化し、アップサイクル製品の販売強化を目指す。
- ・ 同時に都市部における廃棄プラスチックの流動を明らかにすることで、廃棄プラスチックのトレサビリティを改善策を確立し、アップサイクル製品に関するコンサルティングの展開を目指す。

